

Vハートひろしま通信

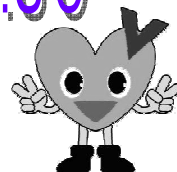
vol.30

発行：広島県民ボランティア活動推進会議（Vハートひろしま） 発行人：江村 良治

事務局：〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2 広島県ボランティアセンター内

TEL 082-254-3506 FAX 082-256-2228

E-mail chiiki@hiroshima-fukushi.net



私たちの活動をPR！ ～会員の日ごろの活動をお届けします～



【町長とぬーくぬくネットワーク安芸太田の座談会の様子】

ぬーくぬくネットワーク安芸太田は、発足して2年のボランティア連絡会です。
ボランティア同士のつながりづくりや、さらなるボランティアの推進を目的に活動をしています。

● CONTENTS

- 西部ブロック活動紹介「発足して2年！～ぬーくぬくネットワーク安芸太田」・・・・・・・・・・ 2
- 東部ブロック活動紹介「グループ同士が協力して一緒に活動」・・・・・・・・・・ 3
- 北部ブロック活動紹介「ともに楽しく暮らしていくために」・・・・・・・・・・ 4

西部ブロックの活動をご紹介します♪

発足して2年! ~ぬーくぬくネットワーク安芸太田~

ぬーくぬくネットワーク安芸太田は、2008(平成20)年10月に発足した安芸太田町のボランティア連絡会です。町内のボランティアグループの代表や個人が集まり、お互いの活動についての情報交換を行っています。

また各関係機関から職員を招き研修会なども定期的に行っています。

この連絡会を通じて、ボランティア活動者のつながりづくりや活動の輪がさらに広がっていくことを目指しています。

町内のボランティア活動を知ってもらいたい ~町長と座談会~

町内にあるボランティア活動について、町長に知ってもらいたいという思いから、今年初めてボランティア連絡会の年間行事に町長との座談会を計画しました。座談会が実現しなくてもこうした行動を起こすことで、もっとボランティアに関心を持っていただけるのでは…との思いもありました。

一方、町長は、今年度から地域に出向き住民から多くの意見を聞き、今後の地域づくりにつなげる取り組み「どこでも座談会」をされていました。そんな偶然も手伝って、10月4日に連絡会メンバーと町長との座談会を開催することができました。

座談会では、連絡会メンバーが自分の行っている活動について順次説明し、次に町長から、行政と地域住民や団体等との協働の町づくりを進めたいという思い、それにはボランティア活動が必要不可欠なものであることなどをお話いただきました。

意見交換では、活動を継続する秘訣や課題について、ボランティア活動者へ質問され、活発な意見交換の場となりました。

今後もこのような会を継続して行い、ボランティア活動者の立場から地域づくりに関わりながら、ボランティア活動が活発な町となるよう、提案していけたらと思います。

座談会の様子



とことんつながりを作ろう!! ~ボランティアの集い~



ボランティアの集いの様子

町内すべてのボランティア活動者が集って交流し、活動者同士のつながりづくりやさらなるボランティア推進を目的に計画しています。

今年は、8月23日に「とことんつながりを作ろう!!」をテーマに実施し、レクレーションを中心に、とことん楽しみながら交流し、つながりを深めました。休憩時には福祉施設で行っている「喫茶ボランティア」を開店し、参加者に体験していただきました。

また、会場の空きスペースを活用して各ボランティアグループや個人の活動紹介ポスターの展示なども行いました。

先進地視察研修会

ボランティアやボランティア連絡会(協議会)活動が活発な先進地を訪問し、活動見学や情報交換などをして、元気の種を見つけています。

昨年は府中町ボランティア協議会を訪問し、素晴らしい協議会活動を紹介していただきました。

今年は、その活動内容を参考に、本会活動を計画し、進めています。



研修の様子

今後の目標

今後、さらに高齢化が進んでいくと、ボランティア活動の更なる重要性・多様性がでてくると思います。定例会が定着し、ボランティア同士のつながりを強化し、また更なるボランティアの輪が広がっていくように、次世代育成を連絡会としても取り組んでいきます!!



東部ブロックの活動をご紹介します♪

福山市ボランティア連絡協議会

グループ同士が協力して一緒に活動

福山市ボランティア連絡協議会は1974（昭和49）年に結成され、広島県内では比較的早い組織化であったと思います。手話・朗読録音・施設訪問・布の絵本づくり・ガイドヘルプ・学生等の分野で活動する16のグループが加入しています。月1回の定例会の開催、年数回の研修会や行事で会員相互の交流を図るとともに、1つのグループでは担うことが難しい活動場면을複数のグループが協力してお手伝いをしています。



私たちボランティア連絡協議会の活動拠点

福山市社協のボランティアセンターには、現在152の団体が登録をしています。私たちもその1つの団体ですが、社協に最も「協力的なボランティアグループ」「帰属意識の高いグループ」と自負しています。

第19回全国ボランティアフェスティバルに参加！

メンバーの高齢化、後継者不足という大きな課題を抱えて活動を続けています。

そんな中、「第19回全国ボランティアフェスティバルひろしま」への参加は大きな刺激になりました。

福山市ボランティア連絡協議会からは37人が参加。バスを借りあげて研修へ参加するの久しぶりだったのでウキウキでした。参加者全員がそうであったようです。その証拠に途中に立ち寄った小谷のサービスエリアではバスに戻って来る人、みんながお土産を抱えている！なぜ？広島県人なのに…、しかもこれから研修に向かうのに…。と思いつつも、あっ、私の両手にも紙袋が！

全国ボランティアフェスティバルでは多くの出会いと学びがあり、「やはり全国大会は違う！」「何が違うのかは言えないが、何が違う！」「会場の雰囲気からして違う！ニオイが違う！」と帰りのバスは盛りあがりました。

ボランティアの取組みを紹介！！

福山市社協やNPO団体と協働して、9月15日から20日まで、福山の本通り商店街「おしゃれなギャラリーも」を会場に「ボランティア活動紹介展&絵本交換市&のほほんカフェ」を開催しました。

カフェ風の会場に活動紹介のポスター、日替わりの体験コーナーや朗読会等で“ボランティア活動”を多くの市民へアピールすることができました。

朗読会では、日ごろ視覚障害者へ朗読録音活動を行っているグループのみなさんによる発表や、会場の外では布の絵本づくりグループが作った“釣り堀”に子どもたちがたくさん参加しました。

おしゃれなギャラリーも



会場も私たちの手にかかればもっさり大変身！

<朗読会の様子>



題材は「季節のかたみ(幸田文 著)」グッときました！

<体験コーナーの様子>



新聞紙でつくるエコバックコーナーも大人気♪



布の絵本づくりグループ手作りの“釣り堀”

福山市ボランティア連絡協議会
広報担当 助佐衛門

「ともに楽しく暮らしていくために」

「ボランティアグループみよし」は昭和51年に「三次市ボランティア連合会」として発足し、平成16年の市町村合併後、名称を変更して現在に至っています。旧三次市内の12地区のボランティアグループの集合団体で会員300人余です。

住み慣れた地域で子どもたちや高齢者、障がいのある人たちと共に楽しく暮らしていくために「自分のできることを通して、人のために役立ちたい」という思いで活動しています。

幅広い活動を行っています！

①各地域での「ふれあいサロン」の実施

ふれあいサロンではそれぞれの地域で高齢者、一人暮らしのみなさんと楽しい集まりを持っています。

②老人福祉施設や障がい者福祉施設への訪問

施設訪問ではベッドサイドや車椅子の掃除、シーツ交換、窓拭きや草取り、夏祭りなどでのバザーや喫茶の手伝い、お話し相手など、その内容は多種多様です。

③夏休みなどに開かれる障がい児生活訓練事業への協力など

障がいのある子どもたちとのふれあいでは、学期ごとに成長していく子どもとの出会いを楽しませてもらっています。

活動を通して、会員同士のコミュニケーションを図りながら、どこにいても心に寄り添えるより良いボランティア活動に繋げるために研修を行い、少しずつでも自己を高め、社会に貢献していくことを目標に頑張っています。

また、今後は地域間での災害時のネットワークづくり等も考えていきたいと思っています。



～ 掃除活動中の様子 ～



～ 草取り活動の様子 ～

ボランティアグループみよし 代表 麓 知子

【事務局から】

☆ Vハートひろしまのホームページをリニューアルしました！

ボランティアの募集、イベント案内など最新の情報をお届けしますので、ぜひご覧ください！

ホームページアドレス：http://www.hiroshima-fukushi.net/O4volunteer/v_heart.html

(県社協のホームページでバナーを見つけてクリックしてください)

☆ Vハートひろしま通信では、活動のお知らせや活動の様子など、会員のみなさまの声（投稿）をお待ちしております。メールやFAXなどでお寄せください。

☆ この通信をご覧になり、それぞれのボランティア連絡協議会やボランティアグループのさらに詳しい活動について知りたいと思われた時は事務局にご連絡ください！ TEL：082-254-3506



みくち
三〇です